

## II. 「政治分野における女性活躍」について

Q 12 「政治分野」における男女共同参画の推進に関する法律」を実行するために、貴政党はどのような具体的な取り組みを実施していますか？

	内容
1 立憲民主党	2030年までに立憲民主党の候補者、地方を含めた所属議員、党職員の女性比率を3割にすることを目指しています。党の取り組み状況・実績の「見える化」を一層進め、政治分野の男女不均衡の是正を先導します。 女性が議員になることの障壁となっている経済的・社会的・心理的な阻害要因（根深い性別役割分業意識やハラスメントなど）を取り除き、女性の立候補を促すために必要な法制度（立候補休暇制度など）や議員の出産育児のための環境を整えます。 ジェンダー視点を持った政治への変革を求めて結成された立憲民主党の「女性議員ネットワーク」のさまざまな活動の展開で、議員活動を支えます。具体的には、女性候補者支援チームを設け、メンター制度で女性候補者支援しています。資金面でも女性新人貸付金やケアラー支援、実践的な研修プログラムの実施、ハラスメント相談などを気軽に相談できる窓口の設置を行っています。
2 公明党	昨年、DEIポリシー「多様性を尊重する社会の実現に向けて 公明党 政治分野における男女共同参画：DEIへの取り組み」を策定し、このポリシーに基づき、党全体の女性議員割合50%（長期的）、10年後の女性国会議員割合30%の目標達成に向け、女性新人候補を積極的に擁立します。議員活動と育児・介護等の両立支援策を推進するとともに、党内理解の促進にも努めます。国会議員候補には専門的な知識を持つ人材を、地方議員候補には地域で活躍する女性をそれぞれ発掘・推薦します。さらに、対話の場「ウイメンズトーク」の開催やオンラインでの意見聴取、ロールモデルとなる女性議員との個別相談などを通じ、立候補に伴う不安の解消をきめ細かく支援しています。
3 日本共産党	法律の趣旨にもとづいて、国政・地方議会の選挙の候補者は男女半々を目標にしています。そのために候補者選定の過程においても、女性・ジェンダー関係部局の参加などを進めています。 党員に占める女性の比率は50.1%に達していますが、党活動のなかでもジェンダー平等を貫くこと、ジェンダー平等の学習を重ね、組織と党員自身が自己改革をすすめること、引き続き女性幹部の登用に努め女性幹部をさらに増やすこと、ハラスメントの社会的・国際的到達点を学ぶとともに、ハラスメントを生まない党活動をつくることなどを大会の方針に明記し、努力を続けています。
4 国民民主党	立候補から議会活動まで先輩議員等が伴走するメンター制度を導入するとともに、介護や育児の負担を軽減するため、ベビーシッター代支援等のメニューを自由に選べる「カフェテリア方式」を導入します。「子連れ選挙」に係る公選法137条の課題についても引き続き取り組みます。
5 れいわ新選組	少しでも多くの女性が、政治の世界をはじめ、意思決定の場に参画する必要があると考え、「数値目標クォータ制」の導入を党のマニフェストに掲げています。政党は候補者及び役員、公的機関は各種委員会や審議会委員の、大企業は管理職や役員50%を女性に割り当てるクォータ制を法制化します。
6 社会民主党	党則に「クォータ制」を導入しています。また、活動方針にジェンダー平等の政党をめざすことを明記し、党機関の女性比率目標（本部執行部50%、国政選挙候補者50%、都道府県執行部35%）を示して、実現に努めています。現在、党首、副党首が女性で、全国連合執行部の女性比率は44%です。

Q13 今年の参議院議員選挙での、選挙区および比例代表制への女性候補者の比率をどのようにされる予定ですか？

(1)選挙区

	1. 増やす	2. 現状維持	3. 減らす	1～3の理由
1 立憲民主党	○			女性比率を3割にすることを目指し努力した結果、選挙区の女性候補（公認）の比率は41.38%になりました。
2 公明党		○		現職議員が挑戦する予定です。
3 日本共産党	○			日本共産党の現職国会議員（2025年6月現在）の女性比率は、衆議院37.5%、参議院36.4%です。目標とする男女半々からは、まだまだ努力が必要な水準です。そのため女性候補者の比率を増やし、女性議員も増やしていく必要があると考えています。
4 国民民主党		記述なし		男女の候補者数をできる限り均等にするという目標の下、女性候補者比率35%目標を実現します。クォータ制の導入をめざします。
5 れいわ新選組		記述なし		比率の方針は特段設けていませんが、候補者公募や「れいわ政治塾」などを通じて、男女分け隔てなく面接を行い、女性の候補者の選定も積極的に行っています。経済政策などを立案する場合に、女性や障害者など経済面でハードルに直面することの多い人々の声を反映することが、すべての人々を包摂する政策になると考えています。 なお、2025年6月20日現在ですが、選挙区・比例代表候補21人のうち、女性候補は、11人です。約52%が女性候補者となっております。
6 社会民主党		○		

## (2)比例代表制

	1. 増やす	2. 現状維持	3. 減らす	1～3の理由
1 立憲民主党	○			女性比率を3割とすることを目指し努力した結果、比例区の女性候補（公認）の比率は40.90%になりました。
2 公明党		○		増やす方向で努力しています。
3 日本共産党	○			上記（1）と同様に、女性候補を増やし、女性議員を増やしていく必要があるからです。
4 国民民主党				記述なし
5 れいわ新選組				記述なし
6 社会民主党		○		活動方針に基づき女性候補比率50%の達成に努めていきます。

## Q14 公職選挙法について、供託金の見直しが必要と考えていますか？

	1. 必要	2. 必要ではない	1～2の理由
1 立憲民主党	○		供託金制度については、海外で取り入れている例は少なく、制度があっても金額は日本より低くなっています。若い世代や女性を始め幅広い人材が議員になれる環境を整備するため、供託金の引き下げについて検討すべきであり、各党各会派で議論して参ります。
2 公明党	○		選挙供託金は宛名を目的とした立候補や有権者への混乱等を防ぐためにありますが、日本は諸外国と比べても、高額となっています。公明党は「カネのかからない選挙」をめざし、性別にかかわらず供託金額の引き下げも引き続き検討してまいります。
3 日本共産党	○		供託金の異常な高さは、女性の立候補にとって大きな障害であるとともに、国民の参政権、被選挙権を行使する権利を妨げる大きな問題です。高すぎる供託金の引き下げは当然必要です。
4 国民民主党			記述なし
5 れいわ新選組	○		自由で公正な選挙を妨げる行為に対する規制の強化等公職選挙法の改正を行います。
6 社会民主党	○		G7で選挙に供託金があるのはイギリスと日本だけで、しかもイギリスは7万円にすぎません。特に少数政党にとって負担となっている供託金については、引き下げる必要があります。令和7年3月に発表された「女性の政治参画への障壁等に関する調査研究報告書」によれば、立候補を断念した理由として、女性の61%が「立候補にかかる資金の不足」と答え、第一となっており、切実な課題です。
			高額な供託金は、男女ともに立候補のハードルを高めています。多様な民主主義を実現するためには、供託金の見直しが必要だと考えます。

## Q15 小選挙区制度を見直す必要があると考えていますか？

	1. 考えている	2. 考えていない	1～2の理由
1 立憲民主党			どちらともいえない
			選挙制度、議員定数について、不断の見直しにより、国民の声がより反映される政治を実現すべきだと考えていますが、小選挙区比例代表並立制自体をどうするのかについては、各党各会派の協議会での議論に参加し議論を行っています。
2 公明党	○		現行の小選挙区比例代表並立制は、政策本位を実現し、政権交代を起こしやすい制度にするといった趣旨等から成立しました。その一方で、有権者にとっては候補者の選択肢が少ない点、死に票が多い点、「民意の集約」に偏重しており、「民意の反映」とのバランスが取れていない点等の課題もあります。さまざまな現行制度の課題に対し、引き続き議論してまいります。
3 日本共産党	○		1名しか当選できない小選挙区制は、民意を歪め、大量の死票を生み出します。多様な民意を反映できる比例代表制度を中心とした民主的な選挙制度改革が必要だと考えます。
4 国民民主党			記述なし
			衆議院については、民意をより正確に議席数に反映させる観点から、比例復活のあり方を含め、これまでの政治改革を検証し、選挙制度を見直します。
5 れいわ新選組	○		二大政党制の実現を目指して導入された小選挙区制ではなく、選挙区内でのより多様な意見が反映される選挙制度を目指し、比例代表制の強化などを含めて検討する必要があると考えます。

6 社民党	○	<p>国政選挙は全面的にし烈な選挙ですが、とりわけ小選挙区制は各選挙区定員が1名のため、昼夜を問わず連日活動などをする必要があります。子育てや家事などが女性へ偏る日本社会では男性の方が活動できる時間が多いでしょう。女性候補者へのセクハラなど性暴力も起きています。</p> <p>このような日本社会での現行の選挙制度では、地盤、看板、カバンを有する世襲候補や富裕層、男性が有利となってしまいます。政策や訴えなど内容以前の条件面での格差是正が必要です。そのために小選挙区制度見直しを含む選挙改革が必要だと考えます。</p>
-------	---	---